

令和2年度 第3回 ほたる多職種研修会

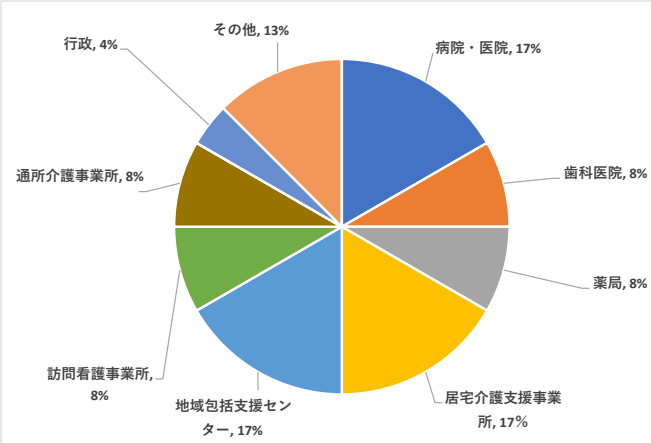
令和3年3月26日（金） 18:30～20：00

スローガン：「在宅での食支援を学ぼう！」～病院から在宅へつなぐ「たべる」こと～

参加者：62名 アンケート協力者：24名 回収率：39%

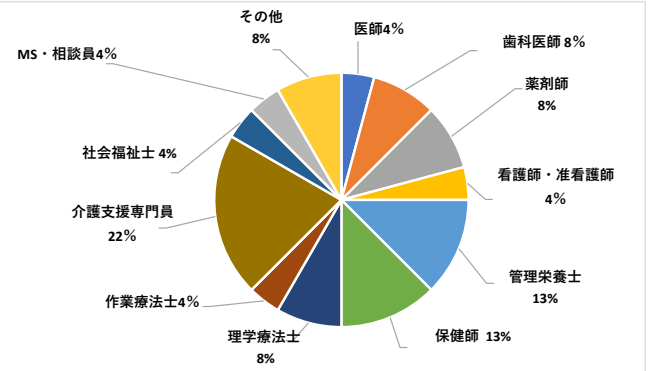
所属

病院・医院	4
歯科医院	2
薬局	2
居宅介護支援事業所	4
地域包括支援センター	4
訪問看護事業所	2
介護老人保健施設	0
介護老人福祉施設	0
訪問介護事業所	0
通所介護事業所	2
介護保健施設	0
グループホーム	0
行政	1
その他	3
無回答	0
合計	24



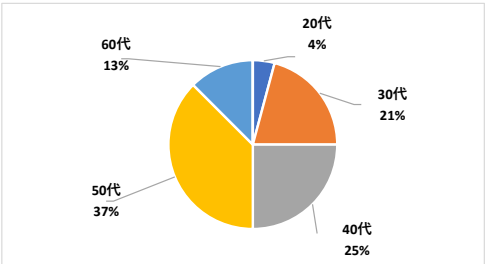
職種（複数回答）

医師	1
歯科医師	2
薬剤師	2
看護師・准看護師	1
管理栄養士	3
保健師	3
理学療法士	2
作業療法士	1
言語聴覚士	0
介護支援専門員	5
社会福祉士	1
介護福祉士	0
介護士	0
歯科衛生士	0
MSW・相談員	1
その他	2
無回答	0
合計	24



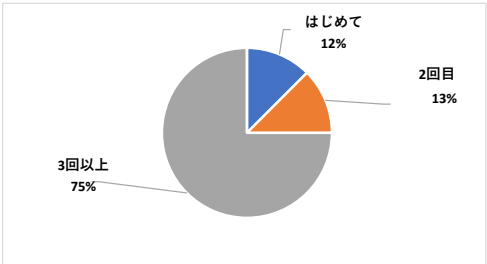
年代

20代	1
30代	5
40代	6
50代	9
60代	3
その他	0
無回答	0
合計	24



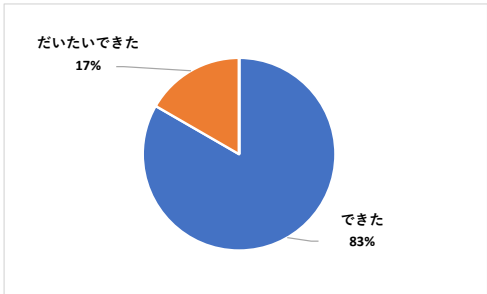
ほたる多職種研修会への参加回数

はじめて	3
2回目	3
3回以上	18
無回答	0
合計	24



1. 研修会の内容は理解できましたか。

できた	20
だいたいできた	4
あまりできなかった	0
できなかった	0
無回答	0
合計	24

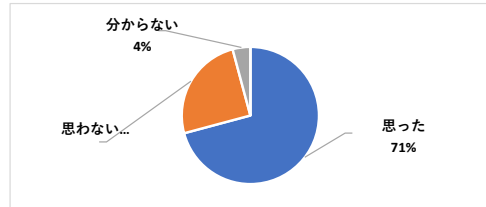


その理由

- ・野口先生の気さくな人柄が訪問診療の要と思いました。おもしろかったです。ありがとうございました。
- ・NSTの重要性を再認識しました。
- ・野口先生のわかりやすい内容と具体的な事例があることにより更に深まりました。
- ・実際の事例を動画などで見ることができてわかりやすかった×2
- ・事例で活動を紹介して頂き分かりやすかったです。×2
- ・効果がみえた事や課題を理解できた。
- ・症例を通し多職種スタッフがどのような形で関りケアしていくのか、知ることができた。
- ・熱心なご家族や事業者からの依頼により、多職種スタッフが関わり、そのケアによって変化が見られたことが分かった。改めてケアマネジャーの重要性を感じた。
- ・普段知る事が無い診療訪問の実際について具体的に知る事ができました。
- ・NSTについて関心があり疑問に思っていた内容が聞けた。
- ・非常に親しみやすい先生で話がわかりやすかった。×4

II. 研修会で学んだことは実践の中で役立ちますか？

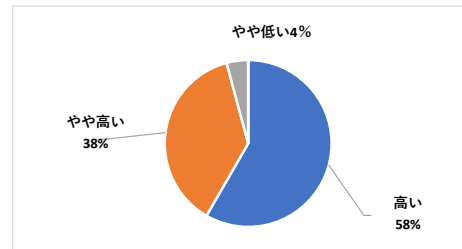
思った	17
思わない	6
分からない	1
無回答	0
合計	24



- ・口から食べたい。栄養改善で元気になりたいと発信しない方への課題をみつめていく役割が自分の業務にあるかと感じました。
- ・ポジショニングなどの工夫。
- ・アセスメント後の評価方法や具体的な地域NSTの流れについてと、各々の役割分担と連携のあり方。
- ・栄養を取るとひとくくりにせず、視覚、聴覚に刺激になる事、楽しく食事を摂取する事の大切さを改めて認識できた。
- ・食べる事を最後まで諦めてはいけない事と多職種の関わりが重要と感じました。
- ・NSTを利用する事でつなげる事をしたい。
- ・NSTに早期に介入し評価していただくことで、最後まで口から食べることにつながり、利用者の生活の質の向上を図ることができると理解したので、ぜひ今後「南庄内食べるを支援し隊」を活用させていただきたいと思った。また支援事例をうかがいたい。
- ・利用者様の変化に気づき家族、ケアマネと情報を共有し早めの対応につなげたい。
- ・ご家族やケアマネとの連携は常に心掛けていますが、今回の研修テーマが「在宅での食支援を学ぼう」だったので+αを期待していました。
- ・在宅NSTの関り方の事例を学ぶことができたため。
- ・看取りを視野に入れた人でも関わり方等、工夫を凝らす事で回復に向かう事ができるのだと知る事ができました。
- ・当地域でのNST構築に参考になった。
- ・小児や筋ジスなど、実際担当しているケースと似た事例報告は今後の業務へすぐに反映できると思った。
- ・地域での活動を知ることで利用者さんへ紹介できるサービスの選択肢が増えてよい。
- ・食事摂取に支障がある利用者対応時参考になりそう。
- ・多職種での訪問評価は参考になると思われる。

III. 研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	14
やや高い	9
やや低い	1
低い	0
回答なし	0
合計	24

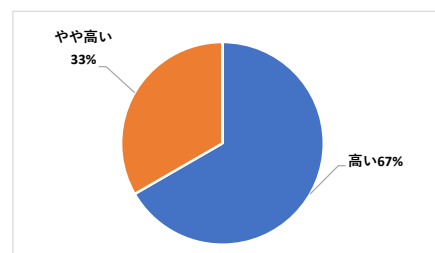


その理由

- ・お医者さんも含めて、地域と専門職がつながると文化が高まると感じました。
- ・講演の中での事例が良かった。食べる喜びが生きる力になることが実感された。それを支えるのがこの活動なのだと痛感した。
- ・野口先生のお話の内容や会の進め方・事務局はたるさんのアシスト・田口さんのファシリとても良かったです。
- ・取り組みが同じなので、課題解決の参考になった。
- ・スライドや動画も見やすく集中して見ることができて良かった。
- ・今回の研修で南庄内・たべるを支援し隊の皆さんがとても身近な方に感じました。今後、ぜひ相談させて下さい。
- ・わかりやすく話してくれた事が満足度を高めてくれました。
- ・他職種の専門性や役割の理解を深め、きめ細かな連携の必要性を感じた。
- ・自宅からだった為かまえず参加でき良かった。
- ・単に栄養を取らせるという面を重視しがちだったが、誰と食べるか、噛んだときの食感、次の目標（楽しみ）等、患者さんとお話するコミュニケーションがいかにか大切に再確認できました。夜は夫が妻の好きなものを作る、妻はその気持ちに答えて食べなきゃと思える、この遠方でも、オンラインで様々な地域の研修を受講できるのが有効と思っている。
- ・経口摂取の与える影響について改めて考えて直すことができた。
- ・当地域と他地域の取り組みの両方を学べて良かった。
- ・他の職種の目線での対応に気づかされた点があるので

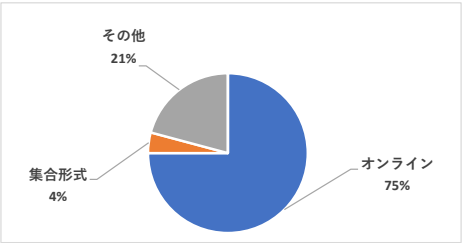
IV. 初めてのオンラインのみでの研修会でしたが、満足度はどの程度でしたか。

高い	16
やや高い	8
やや低い	0
低い	0
回答なし	0
合計	24



V. 今後のほたる多職種研修会の形態について。

オンライン	18
集合形式	1
その他	5
回答なし	0
合計	24



- ・ オンラインはとても新鮮な気持ちで臨めました。まだ慣れていない事もあり、コロナが治ったら、集合形式もあると良いと思います。
- ・ リアル参加したい方もあるし遠くからや所用で外出できない方もあるのでハイブリットがいいですね。今回のシステムに関しては個人的には全く不足は感じていません。
- ・ オンライン研修は密集を避けれる、他者のヒソヒソ話が聞こえないので集中できてありがたいでした。
- ・ 基本的には集合形式が良いですが、コロナ禍であったり集合することが難しい時には、オンラインでも参加できるハイブリット形式であればありがたい。
- ・ これからの感染状況がどのようになってもオンライン研修であれば予定をたてやすいため。安心して研修に参加できる。講師の先生の表情がわかり、内容もよく入ってくる感じがした。
- ・ 状況に応じてオンラインと集合形式を併用してもいいかと。×2

V. その他、研修内容に関する意見や感想

- ・ とても丁寧な対応で良かったです。
- ・ 今後コロナ収束後でも、遠くの講師の先生始め、参加する人にも、負担少なくお話を聞くことができ、オンライン良いと思います。しかし、集合形式の研修会、懇親を兼ねての会等の良さもあり、時々以前の形も欲しいと思います。
- ・ 我々はそうなのですが、zoomやカメラ等のソフトやハードのリテラシー
- ・ ご準備ありがとうございました。特に不都合なく快適な状態で参加できました。事務局機能がしっかりしているので、活動しやすいものと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ・ また機会がありましたら、研修受けたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
- ・ 案内時に講演内容も少しでも良いので知れたらありがたかったです！
- ・ お忙しいところ、研修会にお誘いいただきありがとうございました。今後ともご指導よろしくお願いいたします。
- ・ zoomの扱いに大いに不安はありますが回を重ねる毎に少しずつ慣れてきました。企画・準備等ありがとうございます。